

多剤薬剤内服高齢入院患者の

潜在的に使用すべき薬剤への脱処方の影響に関する研究

当院の研究責任者 (所属)	駒ヶ嶺 順平(独立行政法人国立病院機構栃木医療センター 内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	共同研究ではありません。
本研究の目的	当院で行っている多剤内服高齢入院患者への減薬調整が、「潜在的処方欠如(※)」にどのような影響を及ぼすかを検証します。
調査データ 該当期間	2015年1月から2017年12月にかけての約3年間を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内に当院ポリファーマシー外来を受診された65歳以上の患者様。 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供	ありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 担当者：駒ヶ嶺 順平(独立行政法人国立病院機構栃木医療センター 内科)
備考	(※)潜在的処方欠如とは「使用すれば有効である可能性がある薬剤を使用していないこと」を意味します。